

令和5年度第1回宇部市高齢者福祉計画審議会会議録

日 時：令和5年7月18日（火） 19時～20時30分

場 所：宇部市役所 本庁3階 3-3、3-4 会議室

出席者：【委 員】15名

【事務局】10名

【傍聴者】なし

1 宇部市健康福祉部長あいさつ

2 委員紹介

3 会長、副会長の選出

4 第9期宇部市高齢者福祉計画

(1) 計画策定にあたって

(事務局) 宇部市の現状、計画の概要、第8期計画の進捗を説明。

質疑応答はなし

(2) 策定スケジュール

(事務局) 策定スケジュールを説明。

質疑応答はなし

(3) 策定に係る考え方

(事務局) 国の動向や計画の基本理念、基本目標、重要施策について説明。

(会長) 策定に係る考え方について、在宅生活継続に向けた支援とあります。地域包括ケアシステムの中では、「住み慣れた自宅で」ではなく「住み慣れた地域で」となっています。そのギャップについては、どのようにお考えでしょうか。国も昔は「自宅」となっていたように思いますが、いつの間にか「地域」となっています。

(事務局) 家族での在宅介護が難しく、できるだけ自宅に近いところで、と考えている人も多いです。広い意味で「住み慣れた場所」として「地域」となっています。

(委員) 高齢者の約半数が認知傾向というのは、どういうデータからでしょうか。

(事務局) 昨年度行ったニーズ調査によるものです。調査結果によると、リス

ク判定の結果5割程度が認知症リスク該当となっています。
調査の前提について、今回は介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査の2種類の調査をしています。介護予防・日常生活圏域ニーズ調査については、高齢者のリスクや社会参加状況等を把握するために、市内の65歳以上の方うち要介護1から5以外の方3,500名を対象に行っています。在宅介護実態調査については、高齢者等の適切な在宅生活の継続と家族介護者の就労継続の実現に向けた介護サービスのあり方を検討することを目的に、要支援・要介護認定を受けている在宅の方1,050名を対象に行っています。

(委員) 通いの場の参加率が低いということですが、通いの場の箇所数が少ないから参加できないのか、それとも魅力的ではないということでしょうか。宇部市の通いの場の箇所数は、他の自治体と比較して少ないのでしょうか。

(事務局) 宇部市の通いの場は、200カ所以上となっています。いきいきサロン、ご近所福祉サロン、補助等がなく自主的に行っているサロンがあります。すべて含めると実数としてはもっと多いと思われるので、箇所数が少ないということはないと思います。

(委員) 補助金の有無で通いの場と見なすかどうかが決まるのでしょうか。障害のある人と関わっていますが、65歳以上の方も多くはないが作業所を利用されています。作業所では、工賃よりも作業所に通う方がお金がかかることもあります。通いの場としてカウントできたらいいと思います。

(事務局) 65歳以上の障害のある方は、障害福祉サービスから介護保険にサービスに切り替わりますが、高齢者向けのサービスでは馴染めなかったりすることもあります。障害者関係の課題については、ここに書いてある以外にも気になるところがあればご意見をいただきたいと思います。

(委員) 介護人材確保について、どのような取組をしているのでしょうか。

(事務局) 人材確保については、職に就く方には定着してもらう必要があります。学校を出て介護サービス事業所に就職、もしくは転職や復職してこられる方について、就職支援金を出して実際の就職につなげています。また、中学生や高校生に対して、将来、職業を決める際に、選択肢に加えてもらえるよう、福祉職の業務内容の周知やイメージアップに努めています。先日も黒石中学校で介護職理解促進授業を行いました。

(委員) 通いの場の参加が、介護予防につながるというのは周知のとおりだと思います。参加率の向上に向けて、効果的な周知、魅力的なプログラムとありますが、本当に周知・プログラムが原因で参加率が低いのでしょうか。現場目線では、実際の声を知ると他に理由があるように感じます。周知はしっかりされていると思います。もっと掘り下げて分析していただきたい。

(事務局) ここは対策として考えられることとして書いています。周知というのはしっかり協力いただいておりますが、いくらやっても足りないところではあると感じています。男性の方などは参加率が低いところもあり、そういった方に向けての情報発信が課題と感じています。プログラムの内容が男性にとって興味を持ちにくいというのも考えられますので、参加しやすい工夫なども必要かと感じています。今後、もう少し深く分析をしていきます。

(委員) 黒石地区に住んでいますが、900世帯以上の自治会もあれば、100世帯程度の自治会もあり、通いの場を選ぶのが難しいのではと思います。

北部では、ボランティアの参加率が高いとありますが、近くのお年寄りが、学校に行って子どもたちと野菜を作ったり、そういった活動を含めての結果だと思っています。学校など身近な場所へ高齢者を引っ張っていくことが効果的だと思っています。老人クラブも子ども会も宇部市は減少傾向ですが、地域ふくしプランでも老人クラブで老人だけ集めるのではなく、子どもも集めるという風に書いてあるので、老人も子どもも集まれるようしていただくことも必要ではないでしょうか。

(委員) 通いの場について、サロンには行きたいけど、バス停までが歩けない、バスに乗れない、バスに降りてから歩けない、タクシーに乗るお金がない、段差がしんどい、というような方が多いのかなと感じています。行く手段についてもフォローがあれば参加率が上がるのではないかと思います。

(事務局) 高齢者の活躍の場や地域との交流というのは非常に大切です。そのあたりの連携も盛り込んでいきたいと思っています。

交通手段については、通いの場だけではなく、高齢者が何かしたい、という時に交通手段で困ることは多いです。地域内交通など他部署でも考えているところではありますが、計画の中でもそういった連携について盛り込んでいきたいと思っています。

(委員) 私は北部の方に住んでいますが、地域のなかで活躍している高齢者はいます。子どもの見守りも300人程度の登録があります。朝の集

団登校の時間を中心に活動しています。夕方は学童保育に行く子どもが多いので、通学路の見守りはあまり必要ありませんが、学童保育では高齢者が子どもたちへ色々教える立場となって、役割を持って活動しています。通いの場でも、何か役割を持って行えることが参加したくなるプログラムづくりには大切なのではないのでしょうか。また、継続して通ってもらうためには、地域にあるからではなく仲の良い人がいるから行く、といった理由付けも考えられます。狭い地域で考えるのではなく、もっと広い単位で仲の良い人と継続してもらう、友達の口伝で参加してもらうという考え方も有効ではないのでしょうか。

(事務局) 通いの場は住んでいる地域でないと参加してはいけない、というわけではありません。場所に縛られず、友だちの口コミ、誘い合いで参加できるのは良いことだと思います。活用できるような案があれば是非お教えいただきたい。

(会長) 昨今のコミュニティは、地縁ではなく目的でつながることが多いです。ネットコミュニティもそうですが、地域に限らずそうしたつながりができれば良いと思います。

(事務局) 基本理念の案について、「高齢者がイキイキと自分らしく暮らせる、支え合い助け合う地域共生のまち」としているが、何かご意見はございませんか。

(委員) 8期の基本理念と似ていると思うが、「自分らしく」というのが重要なキーワードだと思います。個人的には「仲間と」「家族と」「地域と」など誰かと関わり合うような言葉があればよいと思います。

(事務局) 3年ごとに策定する計画で基本的には方向性が大きく変わることがないが、誰かと関わりを持つというのは大切だと思うので、入れていきたいと思っています。

(委員) 「イキイキ」がカタカナなのはどうしてでしょうか。

(事務局) 強調するためにカタカナ表記としています。他の表記の方がわかりやすい、イメージがよいということがあれば教えいただきたい。

(委員) カタカナのイキイキはちょっと不自然な感じもします。

(委員) 「自分らしく」というのは十人十色のもので、共通の理念としてはどうでしょうか。「地域共生社会」という福祉全体で目指す共通理念と、どう整合をとるのでしょうか。

(事務局) 自分らしさは人それぞれ異なりますが、その人が役割をもって、楽しく、生きがいをもって、というのが大切だと考えています。そうしたものは自分ひとりで実現できるものではなく、みんなで協力しあってそれぞれが住みやすいように、という思いを込めて「地域

共生」という言葉と一緒に入れています。

(会 長) 8期で世代を超えて、というキーワードがあったが、世代間交流の話も出てきているので引き継いではどうでしょうか。

(事 務 局) 考えをなくしたわけではなく、「地域共生」の中に入れ込んでいるイメージで考案しています。
基本理念については、計画のシンボルとなる、計画を読んでもみようという気になるような言葉を入れたいと思っています。

5 その他

(事 務 局) 追加の御意見等がございましたら、お配りしている様式等で事務局まで提出をお願いします。

今後ですが、本日、委員の皆様からいただいた御意見、また、今後予定しているアンケート調査やワークショップでの御意見も踏まえ、10月に予定している第2回の審議会で素案をお示ししたいと考えています。